

# 保護者向け啓発リーフレット(4月)

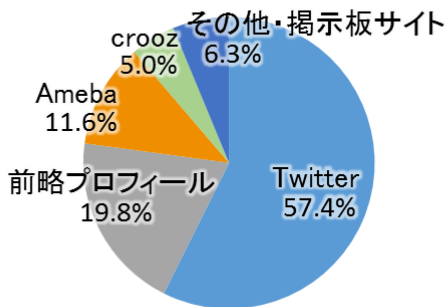
## 《児童生徒の利用が多かったサイトについて》

北海道教育委員会  
ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト

## 検出されたサイトの傾向の変化

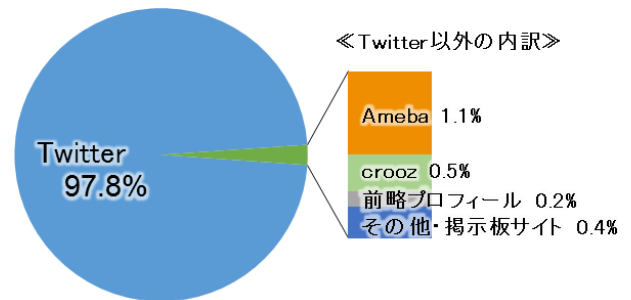
インターネット上で子どもたちに人気のあるサイト、サービスはその時々で変化していきます。昨年度(平成24年度)と今年度(平成25年度)で、不適切な投稿が検出されたサイトに大きな変化が見られました。

### 《平成24年度》



前半はAmeba、前略プロフィールからの検出が多く見られましたが、後半からTwitterからの検出が大きく増加しました。

### 《平成25年度》



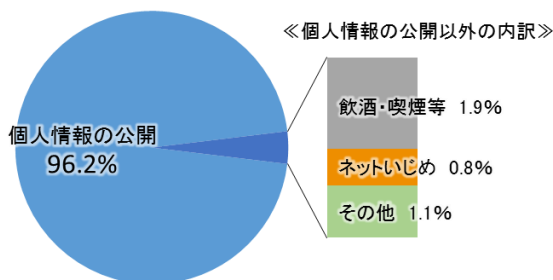
全体の約98%がTwitterからの検出となり、Twitterへの一極化が進みました。

※ネットパトロールの調査対象外である「LINE」などの無料通話アプリや、「Facebook」などの会員制SNSサイトの利用も増えています。

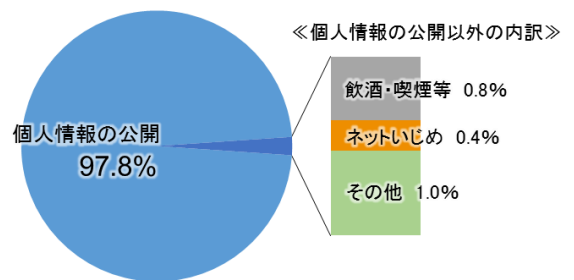
## 検出された投稿の傾向の変化

検出された投稿がどのような内容だったのか、いくつかの分類に分けて傾向を見てみましょう。

### 《平成24年度》



### 《平成25年度》



検出されたサイトの傾向の変化に比べて、検出された投稿の傾向には大きな変化はありません。昨年度と同様に検出された投稿のほとんどは、学校名、氏名、学年クラス、顔写真などをインターネット上に載せてしまっている「個人情報の公開」に該当するものです。飲酒・喫煙やネットいじめに関する投稿は、わずかな減少がみられるものの、依然として検出されています。

子どもたちがどのようなサイトを利用しているのか、ご家庭できちんと把握し、普段どんなことを書き込んでいるのかを話し合ってみましょう。